

水 土 里 レ ポ ー ト

タイトル	今年も田んぼに歓声が響く！
実施場所	群馬県 太田市
水土里レポーター名	待矢場両堰土地改良区 小林 広志
投稿月日	令和8年6月29日

令和8年6月7日（日）、多面的機能支払交付金事業で組織している待矢場太田広域協定委員会（古戸みどり協議会）により、耕作放棄地となっていた田んぼを利用して、田植え体験会が開催されました。

古戸みどり協議会の発足（令和7年度）を機に、「次代を担う子ども達の心と身体の健全育成（体験から学ぶ）」を目的として開催され、本年度で2回目となりました。地元の小学生や保護者ら約55人が参加し、泥だらけになりながら、ときおり歓声をあげ楽しそうに田植えを体験しました。



子供たちは上手にできるか不安そうでしたが、実際にやり始めたらとても楽しんでいました。苗の束から3本ちぎって取るのが難しいと言っていましたが、土が柔らかいのが面白かったようで最後まで植えることができました。

初めての田植え体験。足がべによべによになったけど、泥の感触が気持ち良かったです。収穫したお米で自分でおにぎりを握って食べたいです。



裸足で田んぼに入ると、水や土がとても冷たく、指の間から泥が出てきて不思議な感覚になりました。しばらくすると土が温かくなってきて気持ち良かったです。お米が元気に育つといいなあと思います。

最初子どもは田んぼに入って汚れるのは嫌いと言っていましたが、次第にお友達と楽しそうに顔に泥をつけながら苗を植えました。楽しんでいる姿を見ていて参加してよかったなあと感じました。このお米を食べる時、子どもが何かを感じてくれたらと思います。

